事業所名 **こども通所サービス ひかり** 支援プログラム (参考様式) 作成日 **7** 年 **3** 月 **31** 日

法人 (事業所) 理念		『今』と『未来』を自分らしく輝ける人生に ひまわりは太陽に向かい 力強く・大きく・きれいな大輪の花を咲かせます ひかりのシンボルは太陽と向日葵です。 私たち1人1人が子ども達の太陽となりサポートすることで子ども達は成長という大きな大輪を見事に咲かせます。 自分らしく生き生きと笑顔で溢れる場所として子ども達の心に『ひかり』(輝き)を照らしていきます。		
支援方針		①運動 (粗大運動を行うことでバランスなど自分の体を動かす感覚を学びます。②創作活動 (物作りを通して巧緻動作や想像力を育みます) ③機能向上 (身体能力や生活能力を目指し楽しみながら行っています) ④生活教育 (洗濯や掃除やクッキングなど生活するうえで必要なスキルを習得します) ⑤共同制作・競技 (他者とのコミュニケーションを取りながら共同で競技を行い人との関わり方を学ぶ場としていきます) ⑥コミュニケーションの向上 (自分の意見や考えを伝える能力と相手の意見や考えを受け取る力を養います) ⑦個別療育・集団療育 (『個別療育』では、子どもの発達に合わせた個別のプログラムを行います『集団療育』では、集団行動のルールを学び、お友達との関係や対人スキルを学びます)		
営業時間		月曜日～金曜日 11:00～17:30 学校休校日・土曜日 10:30～17:30 祝日・お盆 10:30～16:30	送迎実施の有無	あり
支援内容				
本人支援	健康・生活	・健康状態の把握と対応 (体温測定・気分把握) ・基本的な生活スキルの獲得 (生活に必要な基本的技能の獲得、食事、排泄、衣類の着脱、身支度、身だしなみや整え方) ・生活リズムの安定 (定期的かつ定時に通所することで生活リズムを安定させる) ・SST (身体的、精神的、社会的訓練) ・構造化を意識した部屋のレイアウト (視覚的に「何がどこにあるか」「どこで何をするか」を分かりやすく掲示)		
	運動・感覚	・姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 (日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得) ・身体移動能力の向上 (自力での身体移動や歩行、日常生活に必要な移動能力の向上のための支援を行う) ・保有する感覚の活用 (保有する視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、の感覚を十分に活用できるように、遊び等を通して支援する)		
	認知・行動	・認知の特性についての理解と対応 (一人一人の認知の特性を理解し、それらを踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるように支援する。また、こだわりや偏食等に対する支援を行う) ・知覚から行動への認知過程の発達 (認知や行動の手掛かりとなる概念の形成物の、形、色、音、音の変化する様子、大小、数、重さ、空間、時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるように支援する) ・行動障害への予防及び対応 (感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防及び適切行動への対応の支援を行う)		
	言語コミュニケーション	・コミュニケーションの基礎的能力の向上 (興味関心等に応じて、言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振り、各種の道具等を用いて意思のやりとりが行えるようにするなど、コミュニケーションに必要な基礎的な能力を身につけることができるよう支援する) ・言語の受容と表出 (話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出することができるよう支援を行う) ・言語の形成と活用 (具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつけること等により、自発的な発声を促し、体系的な言語を身につけることができるよう支援する) ・状況に応じたコミュニケーション (コミュニケーションを円滑に行うためには、伝えようとする側と受け取る側との人間関係や、そのときの状況を的確に把握することが重要であることから、場や相手の状況に応じて、主体的にコミュニケーションを展開できるように支援する)		
	人間関係社会性	・アタッチメント(愛着)の形成 (信頼感を持つことができるように、環境に対する安心感・信頼感、人に対する信頼感を育む支援を行う) ・遊びを通じた社会性の促進 (感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、こっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する) ・自己の理解と行動の調整 (自分のできることや苦手なことなど、自己を肯定的に捉えられる機会を通して、気持ちや情動を調整し、状況に応じた行動ができるように支援する) ・情緒の安定 (自身の感情や気持ち、感情に起伏の幅を安定させ変化の幅が小さく安定した情緒の下で生活ができるよう支援する)		
家族支援	・定期的な面談や毎日の連絡帳でのやり取りを行い本人の体調や成長課題の共有により、支援の統一化を図っている・必要な場合に応じて電話等でやり取りを行い相談や緊急時の対応をスムーズにおこなえるようにしている。	移行支援	・支援上の課題がある場合には学校や関係機関とのケース会議を行っている・スーパーでの買い物を通して社会性を身につけている・近隣のゴミ拾いを行い地域交流を図っている	
地域支援・地域連携	関係各所との連携 (相談支援事業所、学校、区役所、市役所、スクールソーシャルワーカー)	職員の質の向上	定期的な研修と教育: (勉強会・ハラスメント、虐待防止、ヒヤリハット研修)	
主な行事等	季節行事: 夏祭り、そうめん流し、餅つき、節分、ハロウィン、クリスマス会の実施 ・災害時の避難訓練 (地震、津波、台風、洪水に備えた訓練) ・誕生日会			